

学校教育目標	「自ら学び 共に未来を創る ふるさと菅田」 ○「自ら学び」(知・徳・体) ・一人ひとりの子どものやる気を引き出し、意欲的に学ぶ授業づくりを進めます。 ○「共に未来を創る」(知・徳・公・開) ・一人ひとりの子どもが未来に夢と希望をもち、それを実現できる生きる力(学ぶ力・コミュニケーション力)を育てます。 ○「ふるさと菅田」(知・徳・体・公・開) ・温かい思い出ができたところ、自分らしさを取りもどせるところ、自分が大好きになったところ(自己肯定感の高まり)、わからないことがわかるところ、できないことができるところ、共に喜び合える仲間のいるところ「ふるさと菅田」を実現します。
	創立 48 周年 学校長 橋爪 義明 副校長 橋口 三幸 2 学期制 一般学級: 9 個別支援学級: 2

学校概要	児童生徒数: 241 人 主な関係校: 菅田中学校 池上小学校 羽沢小学校
------	---

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
自分で考え、判断し、行動する力	菅田中学校 池上小学校 羽沢小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・習得した知識を活用して問題解決できる子 ・互いに表現し合い、自分の考えを深める子 ・自ら行動し、粘り強く取り組む子 ・小中の連携を深め、授業参観を通して互いに授業力の向上を目指す。 ・小中職員一堂に会する合同研修会の設定。 ・「9年間で育てる子ども像」を見据えた教育課程の編成。

中期取組目標	<ul style="list-style-type: none"> ○自分を大切にし、自分のよさを見つけて、頑張り続けられる子どもを育てます。 ○自分の思いを伝えることを大切にし、人との良好な関わり合いを築いていく中で、子どもの自己肯定感を高めていきます。 ○一人ひとりの子の状況を把握し、やる気を引き出し、わかる喜び・できる喜びを実感させられる授業づくりに努めます。 ○学校内にとどまらず、地域の方々や保護者と積極的に関わることで、子どもたちのまちを愛する心を育てます。
--------	---

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知	①子どもが自分の思いをもち、進んで思いを伝えたいような単元開発、学習構成を工夫する。②体験的な活動を充実させ、子どもの意欲関心を引き出し、粘り強く問題解決に取り組むことができるようにする。③子ども同士の話し合い活動を多く取り入れ、自分の思いや考えを相手に伝えることができるようにする。
担当 研究部	
豊かな心	①教科書教材を活用して、多面的・多角的な見方を広げたり、自己を見つめ、考えを深めたりする。②自然の中での豊かな体験活動や縦割り班活動等の異学年とのふれあい活動、群れ遊びを通して、他者理解を深める。③「いじめ追放宣言集会」・「平和スピーチコンテスト」を通して、確かな人権感覚・意識を育む。
担当 道徳部	
健やかな体	①「朝のスポーツタイム」を継続することで気持ちのよい1週間を過ごせるようにする。②本年度の学校保健委員会で「ニコニコ・ピカピカ！心もからだも元気にすごそう！」をテーマに挙げ、規則正しい生活や栄養について学んでいく。③体育について共通理解を図り、発達段階に応じて段階的に指導を行い体力や運動機能を向上させる。
担当 体育部・保健部	
児童生徒指導	①基本的な生活習慣の定着を図り、児童が安心、安全に過ごせるように、菅田中ブロックスタンダードや菅田小ルールブックをもとに、その在り方を共有して指導を行う。②課題に対して担任だけで対応するのではなく、児童支援専任を中心としたチームで対応する。③特別支援・児童指導部を中心に全職員で児童の情報共有ができるようにする。
担当 特別支援・児童指導部	
特別支援教育	①児童一人ひとりの発達の様子や課題について整理し、教育的ニーズや目標などを学年・ブロック・専任・コーディネーターで共有し、チームで対応する。②児童支援専任・コーディネーターが中心となり、特別支援教室の環境を整備し、特別な支援を要する児童に適切な支援が行えるようにする。③個々への対応等について特別支援の視点に立った研修を行う。
担当 特別支援・児童指導部	
地域連携・学校運営協議会	①学習の中で、地域の特徴やよさに気づけるような授業づくりを進める。②地域の人材をまとめ、「読み聞かせ」「放課後学習支援」「学習活動補助」などの教育活動に生かしていく。③「みどりの大地協議会」「小中ブロック」などの外部からの声を併設型小中一貫校としての教育活動に生かしていく。
担当 教務部	
担当	
担当	
いじめへの対応	アンケートやYPアセスメントを行い、いじめの早期発見に努める。②定期的・臨時的にいじめ防止対策委員会を開き、組織として迅速に対応する。③外部機関との連携を積極的に図り、児童対応や保護者対応に活用する。④全教育活動において、「いじめをしない、させない」心と態度を育てる。
担当 特別支援・児童指導部	
人材育成・組織運営(働き方改革)	①年次研修では、参観授業や示範授業、課題別の講話を計画的に実施し授業力、指導力向上を目指す。②メンター研の取り組みでは、ミドルリーダーを中心に、ともに年間計画を立てて運営し、全職員で支援する。③教育活動の課題を「ブロック研」「二部会」の2つの組織で話し合いながら解決できるよう、効果的な組織運営をしていく。
担当 教務部	